

# 読者新聞

夕刊

2005年(平成17年)3月23日 水曜日

北線 2時間半ストップ

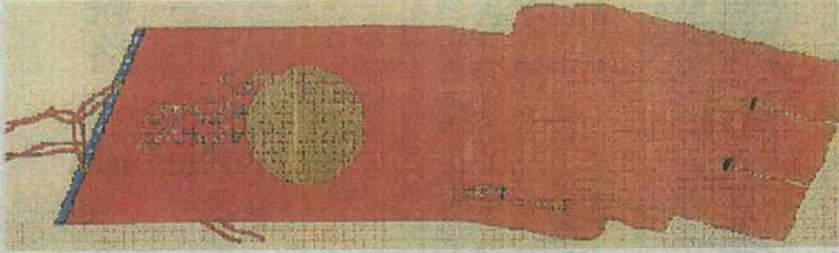
2 スイス国際航空を買収

23 植草被告に有罪判決

20 KODOMO楽しむ

16 小説・重松清「空より高く」

国立公文書館(東京・千代田区)は、所蔵する歴史公文書のうち約180万画像をインターネット上で閲覧できる新たな「デジタルアーカイブ」(電子資料館)の運用を4月から始める。地下室に眠ってほとんど公開されない重要文化財や、歴史の舞台裏を今に伝える内部文書などが、家庭や学校のパソコンで手軽に見られるようになる。



① 戊辰戦争(1868)の際、官軍が用いた旗の模写図  
② 天保9年(1838)に完成した天保国絵図の厳島神社殿  
③ 明治6年(1873)12月20日、若松県(現在の福島県の一部)から右大臣岩倉具視に提出された若松城のガラス温板写真



## 我が家は歴史資料館

\* 国立

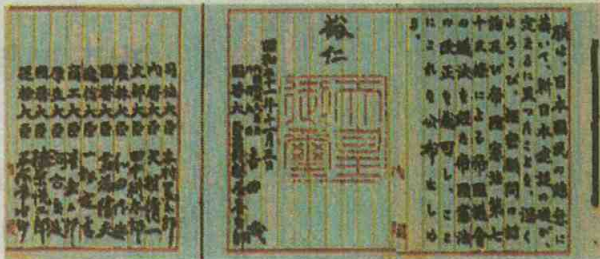
公文書館

### 180万画像無料ネット公開

この電子資料館は、国立公文書館のホームページから無料で入館できる。閲覧したい公文書に関するキーワードを打ち込むと、所蔵資料96万冊の目録情報データベースから検索結果が表示され、画像があればパソコン画面で閲覧できる。また、「デジタルギャラリー」のコーナー(現在「デジタルアーカイブ」の名称で試行運用中)では、実物は最大一辺7材にも及ぶ江戸期の国ごとの地図「天保国絵図」や、終戦直後の焼失状況が描かれた全国主要都市の「戦災概況図」など、大判の歴史資料についても、高精細カラー画像で見ることができ、公文書館では毎年、画像の登録を増やし、所蔵する公文書全体を網羅することを目指す。



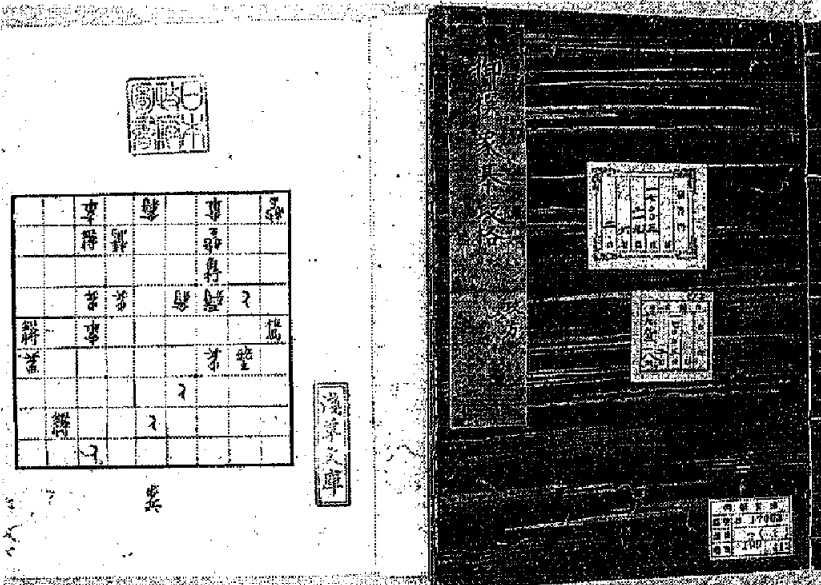
昭和13年(1938)6月、国民に「防空思想」を浸透させようとして作られたポスター



昭和21年(1946)11月3日に公布された日本国憲法。公布書には、第1次吉田茂内閣の各大臣が副署している



十代将軍家治が著した詰め将棋の本



江戸幕府の将軍たちが  
収集、保存してきた書物  
を集めた特別展「将軍の  
アーカイブズ」が、国立  
公文書館(千代田区北の

丸公園3)で。家康  
や吉宗らが何に興味を持  
ち、どんな書物を愛読し  
ていたかを知ることがで  
きる。24日まで、無料。

幕府の書  
物収蔵庫

「紅葉山文庫」に納めら  
れていた古書や古  
文書を中心に54点  
を解説文とともに  
展示する。

# 趣味や興味を 探る

紅葉山文庫を充  
実させたのは、八  
代将軍の吉宗。多  
くの資料を自ら閲  
覧し、さまざまな  
政策に反映させ  
た。また、書物を  
積極的に輸入し、  
各分野の学者たち

家康の愛読書の  
一つは中国の医薬  
書「医林集要」だ  
った。この医薬書  
に登場する薬に、  
オットセイを加え  
て滋養強壯剤を作  
って飲んだとい  
う。

に注釈書や訳本を作成さ  
せた。医、薬学に詳しか  
った吉宗は、医薬に恵ま  
れない庶民のために医療  
知識を普及させようと、  
辺地の庶民でも入手しや  
すい薬や簡単な治療法を  
選んで、「普救類方」に  
まとめさせた。十代将軍  
家治は将棋マニアで、詰  
め将棋の百局集を著し  
た。

午前9時45分〜午後5  
時半(木、金曜は午後8  
時まで)。問い合わせは  
国立公文書館03・32  
14・0621

【渡辺暖】

## 将軍のアーカイブズ展

24日まで 国立公文書館